



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 27 (平成29年9月28日発行)

真夏のSGH活動報告②

JAXA「きみっしょん」活動報告

JAXA(宇宙航空研究開発機構)相模原キャンパスで開催されている、高校生を対象にした研究体験型の教育プログラムの「君がつくる宇宙ミッション(通称「きみっしょん」)」に、3年4組の大豆生田駿くんが、7月31日～8月4日にかけて参加しました。100人以上の応募の中、選ばれた候補者は18人という狭き門のなか、大豆生田くんはVEGA班(その他にDENEB班・ALTAIR班あり)に所属して活動しました。以下、大豆生田くんの感想等を含めた5日間の活動報告です。

1日目

～全体オリエンテーション・自己紹介～



※左から3人目が大豆生田くん

真剣な議論が展開され、昼食もランチミーティング状態になりました。

～研究施設見学～

機密事項多数のため、写真はありませんが、未だに公開されていない施設内の見学や、極秘の場所に行ったことが思い出になりました。

～(再び)ディスカッション～



ディスカッションは夜遅くまで続きました。

3日目

～中間発表・質疑応答～

～ブレインストーミング(アイデア出し)～



たくさんのアイデア
が出ました。

2日目

～ディスカッション～





ミッションの方向性を詰めていき、中間発表を行いました。その後の昼食では、質疑応答が行われました。みな昼を食べるのも忘れて議論に夢中になりました。

～ワールドカフェ～



他の班のスタッフからも意見をもらって、ミッションに何が足りないかを考えました。その後、さらに調査を開始して議論を展開して、さらに詰めたミッション作成を行いました。

4日目

～最終発表会～



VEGA班では、話し合いの末「**シア/バクテリアの火星利用**」を目指すミッションを作るということで意見がまとまり、「**シア/バクテリアの培養の効率化**」を行う方法を模索しました。

最終日

～報告書作成・修了式～



報告書を作り終えて、きみっしょん校長の山村先生から、一人ひとりに修了書が手渡されました。

大豆生田くんの感想(一部抜粋)

5日間という短い間でしたが、非常に貴重な体験ができました。特に自分の進路について、もう一度よく考えさせられる機会になったという点では、かけがえのない経験だったと思います。

JAXAの研究者の方々、そして大学院生の方々と話す機会が非常に多かったのが印象的でした。自分がしたいと思っていることを研究している人もたくさんいたので、そうした方々とも話すことができたことが、5日間で得ることのできた財産です。

学校生活だけでは得られないことをたくさん得られたと思います。



※画像や文章については以下から引用しました。

<http://kimission2017.blogspot.jp/>

(きみっしょんブログ)